

第15回 京都京北小中学校検討協議会

◇日 時 令和元年10月25日（金） 19：30～

◇場 所 京北合同庁舎 大会議室

1 はじめに

2 前回の協議内容の確認

資料1

3 校歌・校章について

資料2

4 教育構想及び学校説明会について

資料3

5 施設整備について

資料4

6 通学安全について

資料5

7 その他

8 次回の日程について

第 14 回（6 / 14）の協議内容

1 京北地域小中一貫教育校検討協議会規約の一部改正について

本検討協議会の名称を新校名である「京都京北小中学校検討協議会」に変更するとともに、周山中学校において、前年度と今年度のPTA会長が同一者となったため、前年度PTA副会長を新たな委員として選出した。

2 令和元年度の取組予定について

検討協議会は、今年度4回の開催を予定し、新校の教育構想や校歌・校章の作成、施設整備、通学安全、学校説明会及び閉校式・開校式の開催など、開校に向けた取組等の報告・検討を行うことを確認した。

また、学校では、小中一貫教育校開校を見据え、3小学校による合同学習や、周山中学校を加えた4小中学校の合同学習について、充実した取組を進めていくことを確認した。

3 校歌（歌詞について）

新校の校歌（歌詞）について、作詞を依頼した久保正鳳氏から作詞に込めた思いや意味等について説明いただいた後に検討を行い、歌詞について了承された。

4 施設整備について

新校舎建設工事の進ちょく状況について報告した。ロータリー整備工事も開始されるため、引き続き、児童生徒の学習環境への配慮はもとより、周辺環境対策・安全対策に万全を期して取り組むことを確認した。

5 通学シミュレーションの実施について

6月14日（金）に実施した通学シミュレーションについて報告した。

当日は、初めての下校時のシミュレーションも行われ、実施結果を踏まえ、より円滑な運行に向け、引き続き、課題検証を行っていくことを確認した。

また、通学路の安全対策についても、引き続き、バス運行事業者や警察等の関係機関と協議していくことを確認した。

校歌・校章について

1 校歌について 資料 2 - 2 を参照

前回の検討協議会（令和元年 6 月 1 4 日開催）で承認された校歌の歌詞をもとに、専門家（京都市立高校の音楽科専門教員）により作曲が行われました。

2 校章について

(1) 校章デザイン案

案 1

旧京北町の町章である六芒星の形をベースとし、同じ形で表した北山杉は 6 つの学区を象徴しています。

更に周囲には稲穂をあしらい、林業や農業が栄える京北の姿を表しています。これらに支えられ「京北」の学校として、大きく成長して進む姿を表現しています。

案 2

案 1 と同様に六芒星の形や、北山杉、稲穂のデザインをベースとしつつ、色づかいや形をアレンジし、シャープな印象となるようデザインしています。

案 3

案 1 ・案 2 と同様に六芒星の形をベースとし、北山杉のデザインで表すとともに、躍動感をあしらっています。時代とともに変化・成長する姿を表現しています。

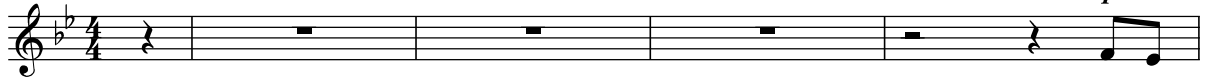
京都京北小中学校 校歌

久保 正鳳 作詞

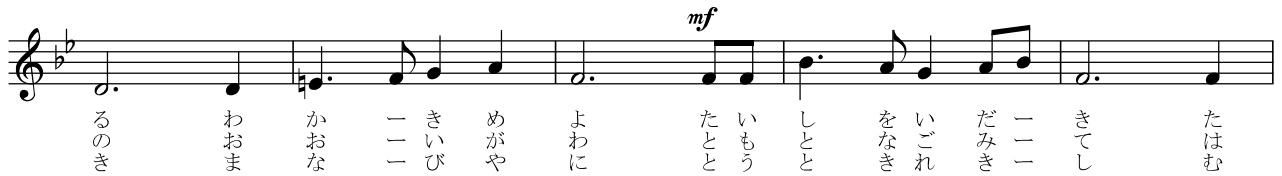
平田 あゆみ 作曲

Allegro Moderato

mp



1. いま



魁の花 薫りたつ
 千古の遺跡 学び舎に
 尊き歴史 胸に抱き
 広き世界へ 翔びたとう
 希望の歌が こだます
 伸びゆく京都 京北校

進む行く手に 光あれ
 共に磨かん 若人の
 自律の力 高めよう
 友と和みて 励み合い
 清き流れの 大堰川
 みどりの山を 仰ぎつつ

今さし昇る 日の影に
 生気あふるる 若き芽よ
 大志を抱き たゆみなく
 真理の道を 究めよう
 希望の丘に そびえたつ
 輝く京都 京北校

京都京北小中学校 校歌
 久保 正鳳 作詞
 平田 あゆみ 作曲

資料3

京都京北小中学校の教育構想 及び学校説明会について

京都京北小中学校教育企画推進室

ふるさと京北を愛し、
誇りに思う心情や
態度の育成

9年間の連続した
学びに支えられた
学力・学習意欲
の向上

京都京北小中学校のねらい

自らの心身の
健康を育む
意欲と体力の向上

豊かな人間性、
市民性の育成

校 訓

自 律

他者への思いやり、人との
絆の大切さを実感しながら、
自らの生活や人生をより良く
高めるため、正しい判断とそ
れに基づく行動ができる。

貢 献

多様な人々との協働のもと、
自分が身に付けた資質・能力
を他者のために役立てること
で、地域貢献・社会貢献が
できる。

創 造

自分ならではの感性や創造
性を発揮するとともに、自ら
の可能性を信じ、どのように
社会が変化しようとも豊かに
生きていける。

学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成

～言語能力と地域創生力を伸ばす～

言語 能力

全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤として重要な役割を果たします。このため、言語能力の向上は、学びの質を高め、受信・理解・発信する力を培います。

地域 創生力

新設する「京北ふるさと未来科」を軸に、地域社会における産業の役割や環境等を理解するとともに、探究的な学習を通して、問題発見・解決能力を育成し、地域振興や地域創生につながる資質・能力を育てていきます。

9年間を見通した効果的で特色あるカリキュラムの編成

学校教育目標

ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成

・学習内容の系統性

・学習指導の継続性

・子ども理解の一貫性

9年

8年

7年

6年

5年

4年

3年

2年

1年

ふるさとへの心情や態度の育成

学力・学習意欲の向上

心身の健康と体力の向上

豊かな人間性、市民性の育成

豊かな自然と誇れる伝統・文化にあふれる地域

ファースト

セカンド

サード

1st (4年) → 2nd (3年) → 3rd (2年) の 3段階のステージで新しい学びに

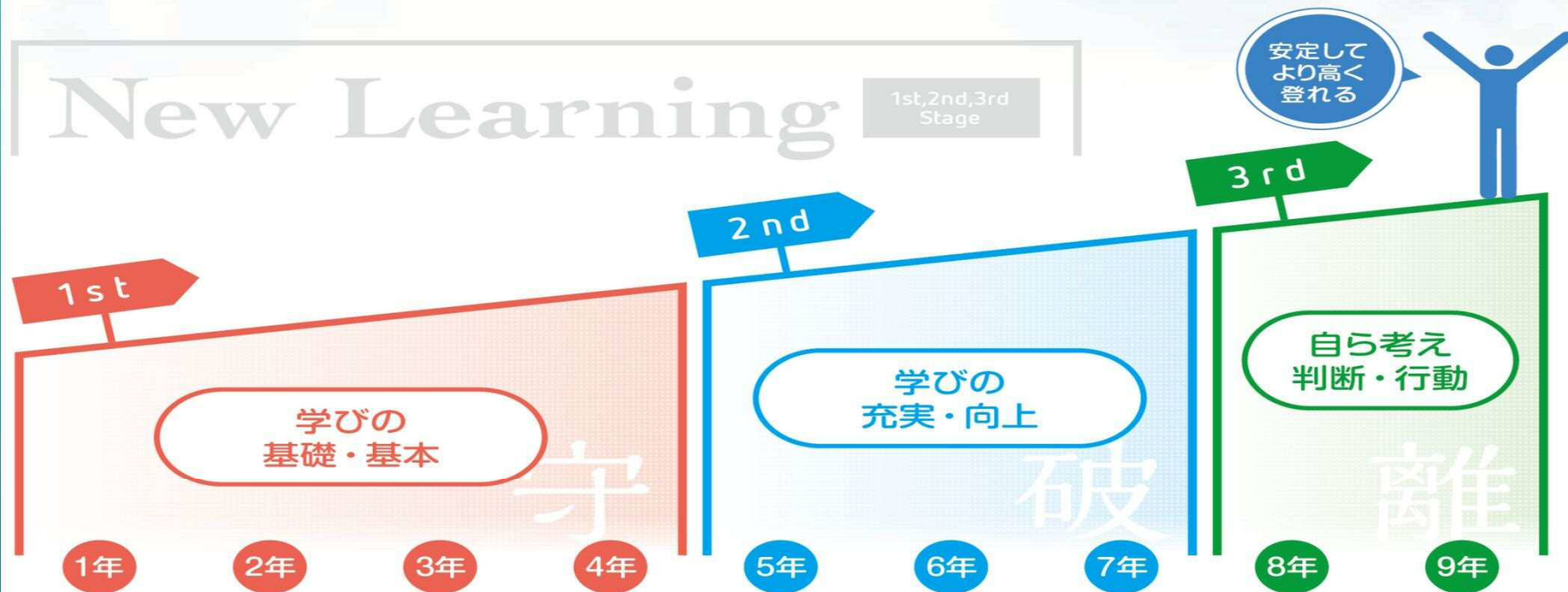
単に小学校（6年制）と中学校（3年制）が学びの場を同じくするのではなく、一つの学校「義務教育学校」として、9年間の学年を3段階のステージに区分し、一つの施設で学ぶメリットを最大限に生かしながら、子どもの成長に応じて教育を進めます。

義務教育前期課程

【小学校】

義務教育後期課程

【中学校】



9年間を通した学びのプロセス「守・破・離」

伝統的な概念「守破離」とは、武道、芸能、スポーツなどにおける理想的な学びのプロセスを3段階で示したものであり、「守」は正しい型を模倣し身に付ける段階、「破」はそれを応用し、自分に合ったものとする段階、「離」は自分のスタイルを確立し、創造や革新につなげていく段階を指します。

1st Stage

1～4年

学びの重点事項 | 体験的・発見的活動を重視した学びの基礎力の育成

◎ 学ぶ楽しさを知り、学んだことを生活に生かすとともに、学び方や学習規律、基本的な生活習慣、礼儀作法等を身に付けます。

- 1stステージ前期では、重点的に自己肯定感の醸成と学習規律の徹底を図ります。また、運動に親しみ、基礎体力の向上を目指します。
- 1stステージ後期では、前期で培った読み書き指導などを基盤として、発展的な学習にも取り組みます。また、身体能力の育成にも重点を置き、体幹を鍛えます。
- 段階を追って、学校生活に必要な技能やルールを身に付けながら、社会性の基礎を育みます。



ここがポイント!

「わかった」「おもしろい」と
思える授業に

見通しを持ち、粘り強く
取り組む力を育む授業に



1年

就学前教育と円滑につなげるための、スタートカリキュラムのもと学校生活への安心感を培いながら、京北の四季を観察するなど、具体的な活動や体験を取り入れた授業を行うことで、自信と意欲を育てます。

2年

聞くこと、話すこと、協力することなど、積極的に授業に参加する態度や学習のルールを身に付け、主体的に学習するための基礎を育みます。

3年

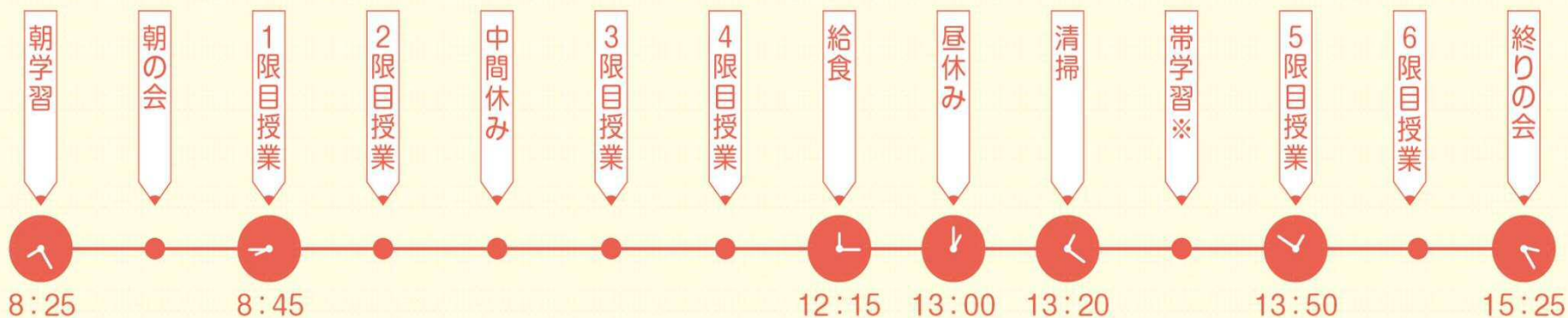
これまでの学習を基に、3年から始まる社会科や理科の学習等でより発展的な学習に取り組みます。しっかり聞き、はっきり話し、学び合いながら、自分の考えをもてるよう、話し合い活動に取り組みます。

4年

確かな学力の定着・生活習慣を身に付け、1stステージのリーダーとして下級生をまとめます。また、ロボットPepperを活用するなどプログラミング教育に本格的に取り組みます。



1stステージの1日



※帯学習では短時間（15分程度）の学習を毎日設定し、学習課題に取り組みます。

2nd Stage

5～7年

学びの重点事項 | 主体的な探究力と場面に応じた活用力の育成

◎ 学びの基礎・基本の確かな定着のもと、指導や支援方法の更なる工夫を図り、意欲や関心を高め、主体的に探究し、生活に活用する力を育みます。



- 言語能力など、学びの基盤となる資質・能力の確実な定着と、自ら主体的に探究し、生きた知識として活用できるよう指導・支援するとともに、成長の核となる学習規律・生活習慣を確かなものとしていきます。
- 小学校課程と中学校課程を円滑につなぐために、段階的に中学校課程の教科担任制や50分授業を取り入れていきます。
- 集団の中での学習を進め、各種活動を通し、個々の能力の伸長と、他者への配慮を意識した、主体的に行動できる実践力を身に付けます。また、集団の中で互いの良さを認め合う心情を養い、人間関係形成・社会形成能力を育みます。

／ ここがポイント! ／

集団の中で共に学び、新しい発見が
生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや
生活に生かす力を育む授業に

5年

一部教科担任制と50分授業や部活動を導入し、1stステージで培った基礎・基本を生かして、活用する力を伸ばし、「協働的で主体的な学び」へとつなげていきます。

6年

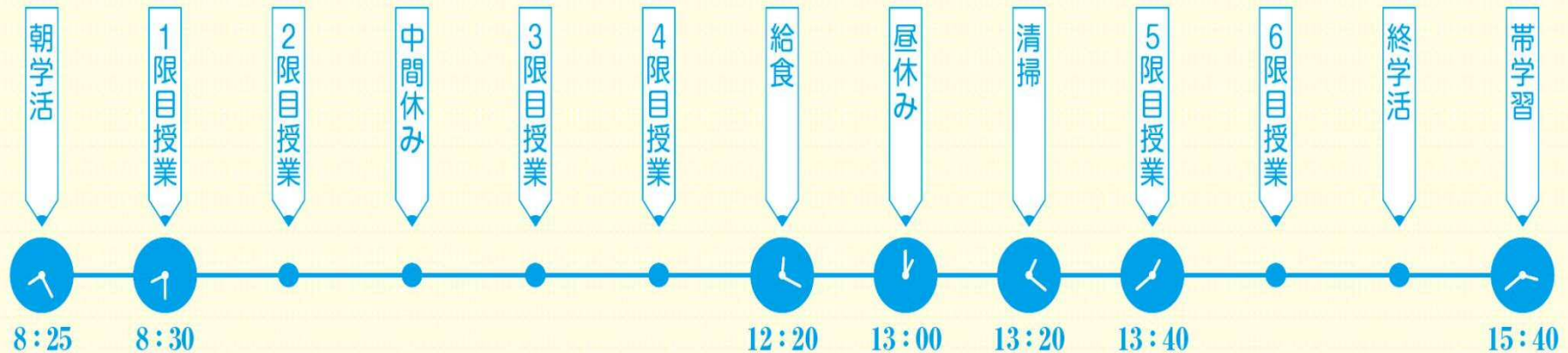
小学校課程の集大成として、学びを継続・発展させ、探究力・活用力のさらなる向上を図り、知識がつながり構造化される「深い学び」ができるように取り組みます。

7年

下級生との合同宿泊学習などを通して、2ndステージのリーダーとしての自覚を高め、「協働的・主体的で深い学び」の定着と自らの生き方を考える力を育みます。



2ndステージの1日



3rd Stage

8・9年

学びの重点事項 | 確かな発信力の育成と志の確立をもとにした自己実現

◎ 高い志をもって計画的・協働的な学びを深め、積極的に発信できる力を育て、広い視野をもって、未来につながる進路の実現につなげます。

- 自らの進路を切り拓く確かな学力を培うために、発展的な学習を積み重ねます。
- 未来を創造するために、自律的に生涯学び続ける意欲と自学自習の態度を育みます。
- 常に自分磨きをしながら、よりよい人間関係を構築する力と社会の一員としての市民性を育みます。
- 多様な体験活動等を通して自己有用感を高め、将来の自己実現及び地域を愛する心情や態度の育成に向けた望ましいキャリア発達を支援します。



ここがポイント!

習得・活用・探究という学びの過程を確立し、より「深い学び」ができる授業に

予測困難な時代においても、自ら課題を見つけ、考え、正しい判断ができる力を育む授業に

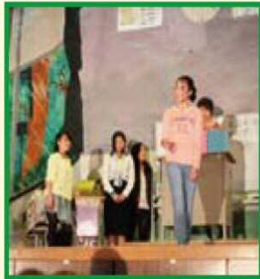


8年

職場体験等の生き方探究教育を通して、社会と自己の関係を探究しながら、自らの進路や生き方を見据え、自ら積極的に学ぶ力を育みます。

9年

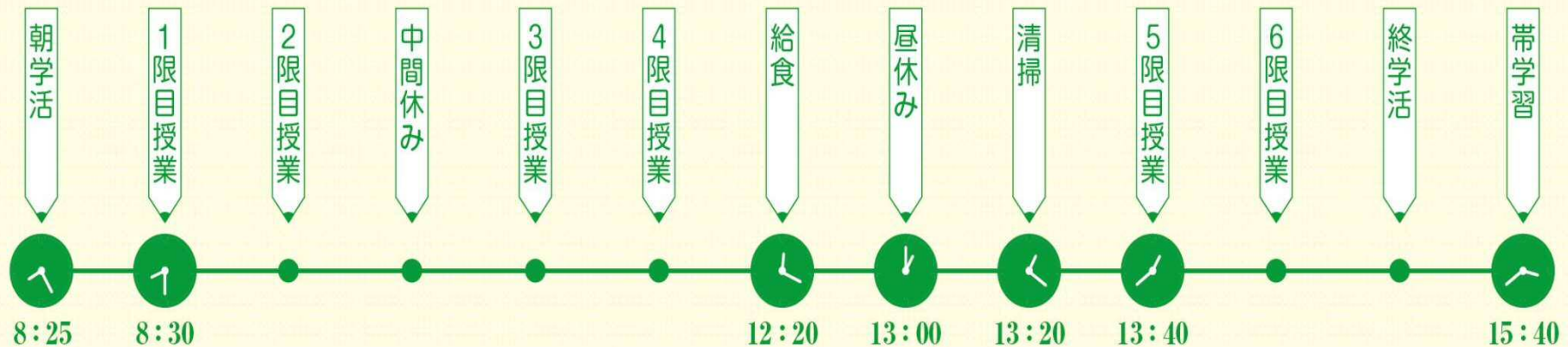
最上ステージのリーダーとして、地域創生に向けた提言を行うなどにより、全校児童生徒の道標となる集団づくりを進め、将来の自己実現に向けて努力し続ける態度を育みます。



進路
指導

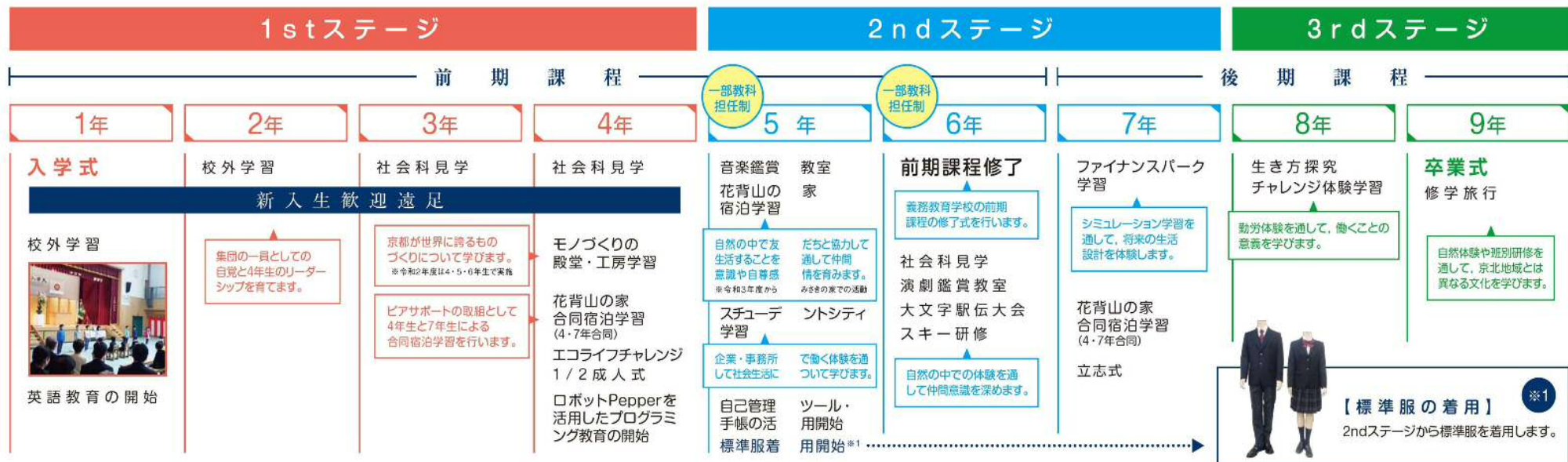
京北地域の伝統と文化に誇りを持ち、自らの志の確立と、一人一人の自己実現に向けた進路選択を支援します。

3rdステージの1日



未来を担う市民性を育む、「つなぐ・つながる」を礎とした学校生活

9年間の学校生活（令和2年度予定）



1年間の学校生活（令和2年度予定）



未来へ・世界へ

9年間を通じた 地域学習の実施

「京北ふるさと未来科」を中心に、地域の魅力を知り地域に誇りをもって、社会の発展につながる「地域創生力」を育成します。また、この学習を通して探究する心を伸ばします。



※京北ふるさと未来科では京北地域を探究のテーマとし、生活科、総合的な学習の時間を軸に、教科横断的な学習を行います。

つながりを生かす ピアサポート

異年齢集団による縦組活動などを通して、下級生は、「安心感」や「あこがれ」を培い、上級生は、「自己有用感」と「自尊感情」を育みます。



計画的に生活をする習慣を 身に付けるための支援

2ndステージから、1日のスケジュールを自己管理できるように、「やるべきこと」や「やりたいこと」を明確にするための自己管理ツール・手帳を活用します。



ICT機器等の活用と プログラミング教育の充実

未来社会（Society 5.0）に向かう急速な社会の変化を見据え、ロボットPepper等のICT機器の活用を通して、プログラミング教育とともに主体的に学ぶアクティブ・ラーニングの充実を図ります。



困りを抱える子どもに 対する支援

小中一貫教育校の利点を生かした総合育成支援教育を進めるとともに、さまざまな困りを抱える子どもの個々に応じた学びを支えます。



市民性を育てる 教育を充実

「他人を尊重すること」・「個人の権利・責任」・「歴史・宗教・文化の多様性の価値」など、世界の人々と協力するために必要な能力を身に付けます。



英語教育の充実

1年生から英語教育の充実を図り、英語で自己表現できるコミュニケーション力を高め発表する場を設定します。また、実践的コミュニケーション力を身に付けるため、英語圏の学校との交流を促進します。



つなぐ・つながるそして、
はばたく

3rd

自ら考え判断・行動し、
自己の生き方を創造する
確かな発信力の育成と志の
確立をもとにした自己実現

2nd

学びを充実・向上させる
主体的な探究力と場面に
応じた活用力の育成

1st

学びの基礎・基本を
確実に身に付ける
体験的・発見的活動を
重視した学びの基礎力の育成

50分授業

45分授業

教科担任制

一部教科担任制

学級担任制

カリキュラム 研究室の導入

教員の授業の質の向上につなげる研究室を設置します。各教科の指導に関する資料や指導後の改善点を蓄積・活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげます。



自校調理給食の 導入

全学年が自校調理給食となります。京北米を使うなど地産地消で実施し、食教育の充実につなげます。



保育所・北桑田 高校等との連携

北桑田高校との授業連携や合同部活動等の実施、保育所との就学前からの交流促進など、京北地域にある教育機関との一層の連携を重視した取組を進めます。



家庭教育

就学前教育

地域力



1 全学年が一堂に会することができる、眺望の開けたランチルーム



3 吹抜け構造で、開放感のある昇降口



■ 教室ゾーン
■ 管理諸室ゾーン
EV = エレベーター



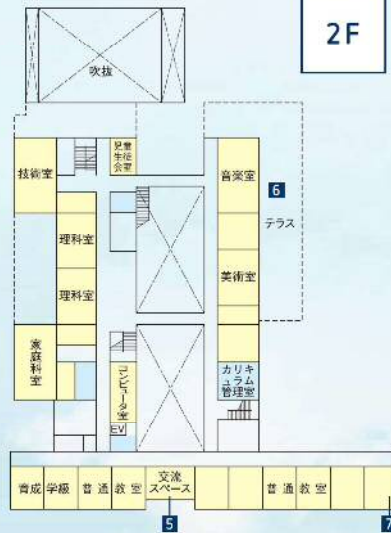
2 避難所としての機能を備えた体育館



4 各所に木材を利用した、ぬくもりのある図書館 (メディアセンター) 地域開放を想定し、昇降口付近に設置



5 京北のまちを眺望できる開放的な交流スペース



6 イベント等にも利用できるテラス



7 校舎の南面に配置する、明るく開放的な普通教室



京北地域のシンボルとなる、光があふれ、木のぬくもりを感じる新校舎



南西からの鳥瞰図



北東からの鳥瞰図



西側からの外観



東側からの外観 (サブグラウンド)

- 京北のシンボルとなる学窓
 - ・丘陵地の景観や山並みと一体となった外観デザインとし、京北の町並みへの調和を図ります。
 - ・周辺からも視認しやすい場所に時計塔を設置します。
- 地域に開かれ、地域と共につくる学窓
 - ・昇降口や図書館上部を吹抜け空間とするとともに、2階には吹抜け空間を囲むように廊下を配置し、見通しを良くすることで交流を促進します。
- 京北の自然を活かした、木のぬくもりを感じる学窓
 - ・柱、梁、床を鉄筋コンクリート造とすることで「堅牢さ」を確保しながら、屋根の一部を木造の現しとするなど、木材や自然素材を内外に使用することで、ぬくもりを感じる校舎とします。
 - ・木質ペレットを燃料とした冷暖房設備や太陽光発電の採用など、自然エネルギーを積極的に活用します。
- 子ども・地域にとって、安心・安全の学窓
 - ・防災拠点施設としての機能を確保し、校舎を低層とすることで避難しやすく安全性を高めます。
 - ・落雪や氷柱の発生を防止するため、屋根はゆるやかな勾配で雪止めを設置し、1.5m以上の庇を設け、積雪時に子どもが安全に歩ける通路を確保します。
- 充実したICT環境
 - ・無線LANを整備して円滑なタブレット授業を実現します。

学校説明会の開催について

(新入学・進級説明会)

- 1 日時 令和元年11月30日(土) 午前10時～11時半
- 2 場所 周山中学校 体育館
- 3 対象 ○京北4小中学校児童・生徒の保護者の皆様
(来春入学予定の新1年生の保護者を含む)
○京北地域にお住まいの皆様
- 4 内容 京都京北小中学校の教育内容や過ごし方等について説明します。
○教育内容(教育課程・年間行事・教育の特色など)
○生活(通学方法・服装・生活のきまりなど)
○施設(新校舎の概要について)
○その他(PTA・学校運営協議会・連絡方法・諸費用等)

豊かな自然と伝統・文化を生かして一人一人の志を高める学校

Kyoto Keihoku

令和2年 4月開校

施設一体型
小中一貫教育校
義務教育
学校



つなぐ・つながる

京都市立

京都京北小中学校

新入学・進級説明会

[日時] 令和元年11月30日(土) 午前10時～11時半 [場所] 周山中学校 体育館

[対象] 4小中学校児童・生徒の保護者の皆様(来春入学予定の新1年生の保護者の方含む)、
京北地域にお住まいの皆様

建築工事の状況等について（令和元年 9 月末時点）

1 建築工事の状況（別紙①～⑨参照）

・校舎棟，体育館

3 月～ 6 月	基礎工事
6 月～ 1 0 月	躯体工事
1 0 月～	内装工事
1 2 月～	外構工事

・アプローチ棟

4 月	基礎工事
5 月～ 1 0 月	躯体工事
1 1 月～	外構工事

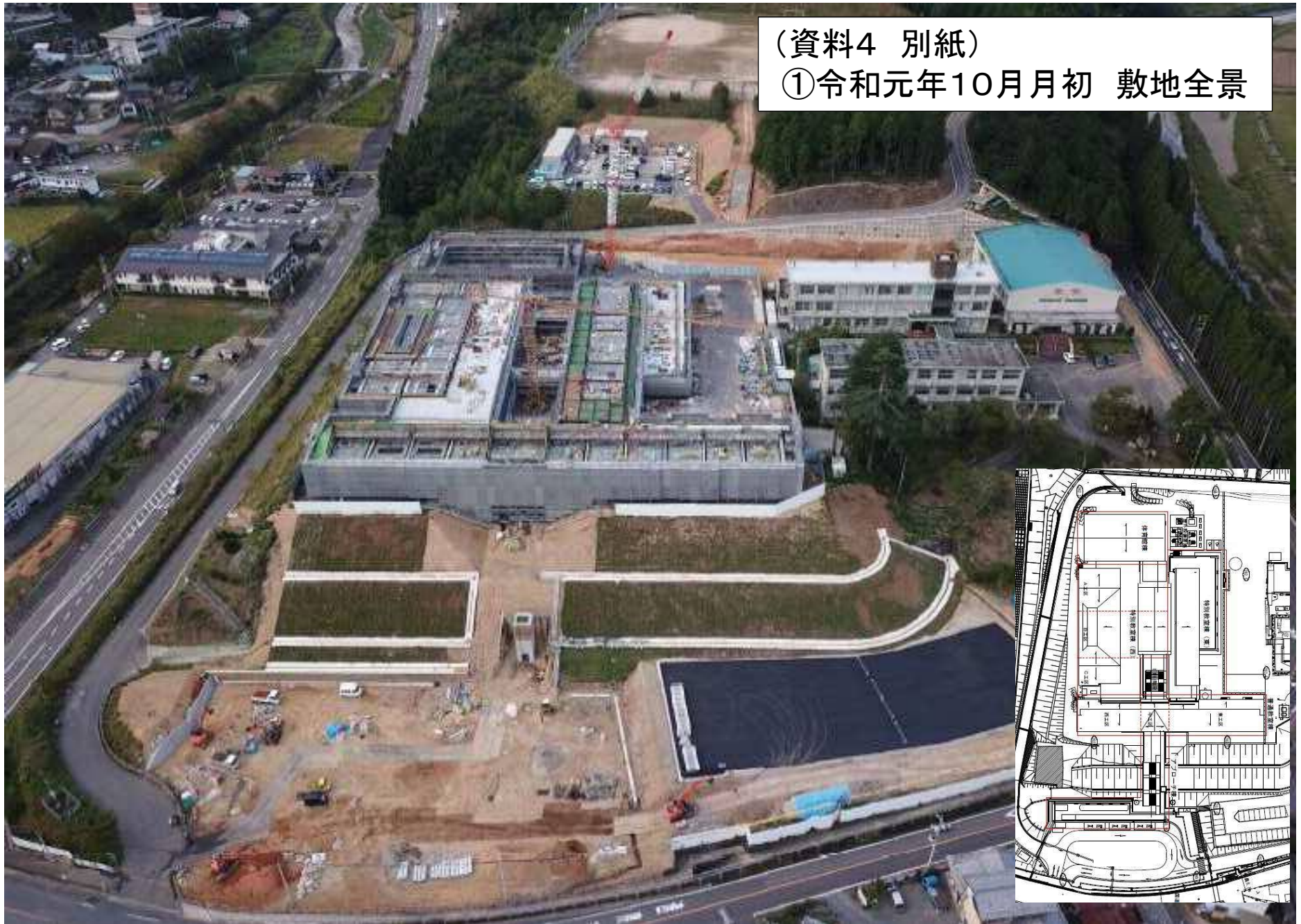
2 土木工事の状況（別紙⑩参照）

・第 2・3 工区（現周山中学校の校舎北側から体育館東側）法面工事

・ロータリー整備工事

(資料4 別紙)

①令和元年10月初 敷地全景



②令和元年8月上旬(建築現場定点撮影)



③令和元年8月下旬



④令和元年9月上旬



⑤令和元年9月下旬



⑥体育館棟型枠工事(8月下旬)



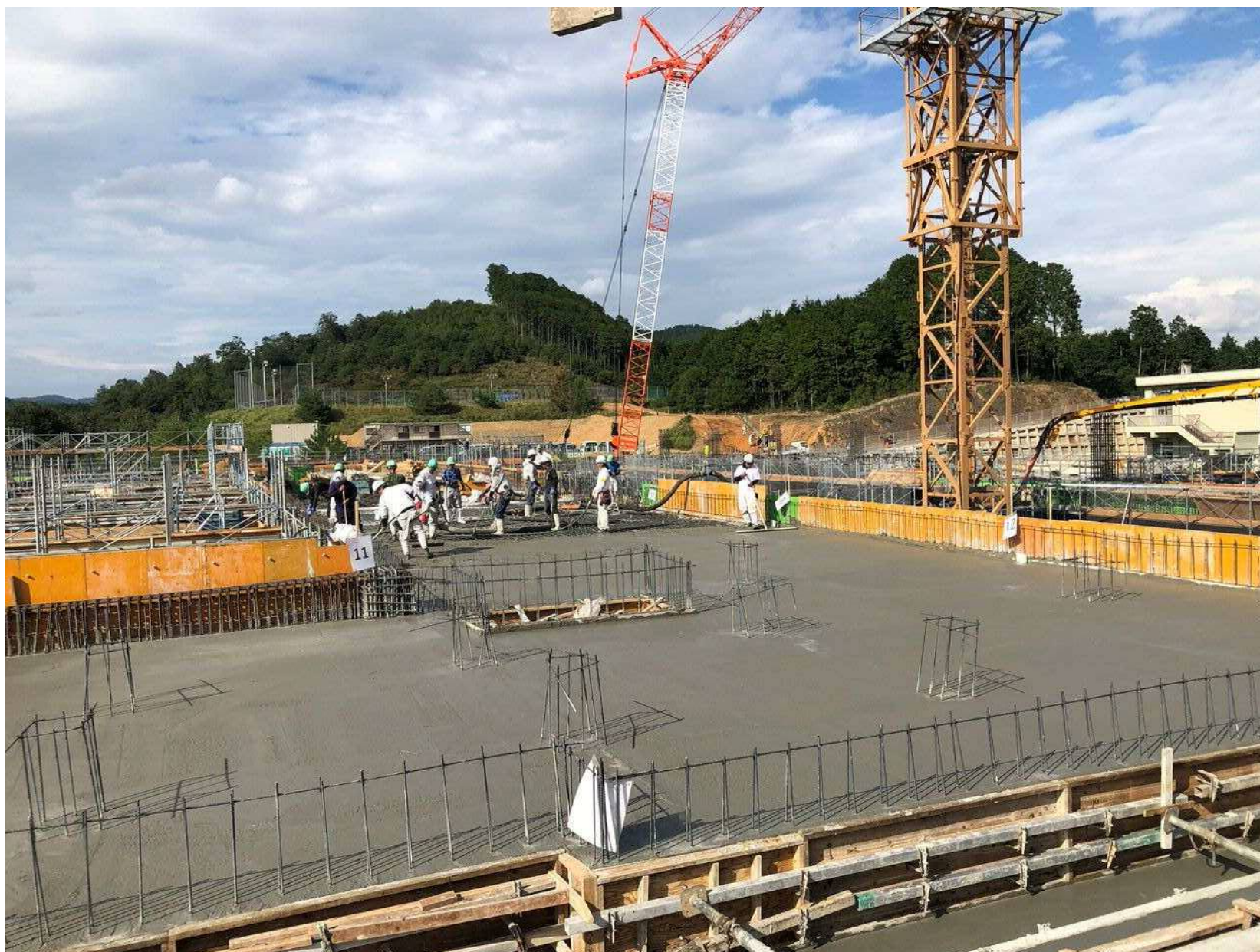
⑦体育館棟型枠工事(9月上旬)



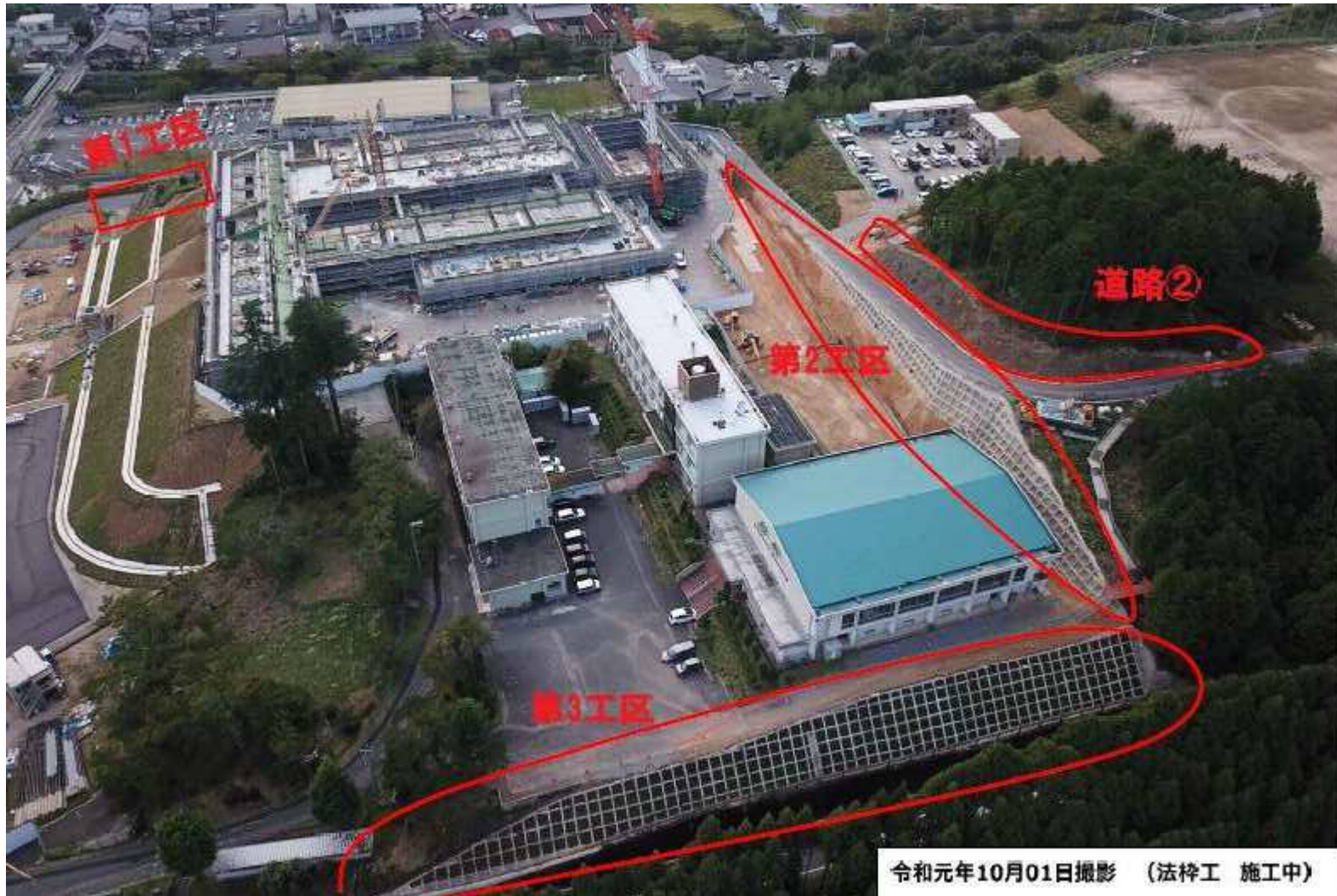
⑧アプローチ棟型枠工事(9月下旬)



⑨校舎躯体コンクリート打設工事(9月下旬)



⑩第1～3工区法面对策工事



通学安全について（シミュレーション実施等）

1 今年度のシミュレーション概要

登校時に加えて下校時のシミュレーションを実施し、開校時の運行方法、運行時刻等昨年度の検討事項を確定させる。

2 実施日（回数は昨年度からの通算・今後の予定含む）

- 第4回 令和元年 6月14日（金）＜実施済み＞
（周山中・京北第一小で合同学習・合同音楽祭を実施）
- 第5回 令和元年10月21日（月）＜実施済み＞
（周山中・京北第一小で合同学習を実施）
- 第6回 令和元年12月20日（金）＜予定＞
令和2年1月以降も、実施を検討中

3 第4・5回シミュレーションの実施内容

（1）登校時

8時頃に周山に到着する路線バス，スクールバスを利用して登校する。

（下線は今回のシミュレーションで新たに実施する内容）

学校名	内 容
京北第一小	<p>①五本松地区の児童が路線バス（矢代線）に乗車する。（バス停：出口橋）</p> <p>②城山地区の児童がスクールバス（細野・長野線）に乗車する。（バス停：八千代橋）＜第4回のみ・第5回は徒歩＞</p> <p>※①及び②の児童は普段は徒歩通学</p> <p>③他の地区の児童は普段どおりの登校</p>
京北第二小	<p>地区に応じてスクールバスと路線バス（山国・黒田線）に全員乗車する。</p> <p>①スクールバス：黒田地区及び大野地区～中江地区 （バス停：林町～二小前）</p> <p>②路線バス（山国・黒田線）：小塩・井戸地区及び塔地区～下地区 （バス停：山国～殿橋）</p>
京北第三小	<p>地区に応じて2つの路線バス（弓削線・田貫線）に全員乗車する。</p> <p>①路線バス（弓削線）：上弓削地区～上中地区（バス停：下川～上中）</p> <p>②路線バス（田貫線）：田貫地区，鳥谷地区及び下中地区～井崎地区 （バス停：下中～井崎）</p>
周山中	<p>①京北第二小の「スクールバス」の区間の生徒がスクールバスに乗車する。</p> <p>②その他の生徒は普段どおりの登校</p>

(2) 下校時

16時30分頃に周山を出発する路線バス，スクールバスを利用して下校する。

学校名	内 容
京北第一小	<p>1 路線バスとスクールバスの2台のバスが運行している宇津線と矢代線について，開校時の運行方法を見据えて乗車バスを一本化したシミュレーションを行う。</p> <p>①宇津線： 【現在】：宇津地区がスクールバス，下熊田地区が路線バスで下校 【シミュレーション】：全員が路線バスで下校する。</p> <p>②矢代線 【現在】：矢代・宇野地区がスクールバス，熊田地区が路線バスで下校 【シミュレーション】：全員がスクールバスで下校する (登校時と同様五本松地区の児童も乗車)。</p> <p>2 城山地区児童は登校時と同様スクールバス(細野・長野線)に乗車 (第4回のみ・第5回は徒歩)</p> <p>3 他の地区の児童は普段どおりの下校</p>
京北第二小	登校時と同じ振分けでスクールバスと路線バス(山国・黒田線)で下校する。
京北第三小	登校時と同じ振分けで2つの路線バス(弓削線・田貫線)で下校する。
周山中	<p>16時台に下校する生徒は，小学生が利用するバスに乗車する。</p> <p>18時台に下校する生徒は，普段どおり路線バスで下校する(第4回のみ)</p>

4 その他

(1) 実施前の説明，指導

各学校で，乗車するバスの種類・バス停，バス停までの行き方など児童・生徒への事前指導，案内プリントの配布等を行う。

(2) 実施当日の見守り体制

普段バス通学をしていない児童が乗車する区間のバス停での待機やバスへの乗車等により，教職員や市教委職員が児童の乗降状況を確認する。

(3) バスの乗車運賃

シミュレーションに伴う運賃は，教育委員会が負担する。

5 実施結果

○ 第4回（令和元年6月14日（金））

【結果概要】

- ・登下校時ともに、全路線で大きな混乱はなく、徒歩通学の児童も全員無事に登下校した。
- ・登校時は一部の路線によっては、乗降に時間を要して、若干の遅延が発生したり、どのバスに乗車するか戸惑いが見られたりすることがあった。
- ・下校時は、時折、小雨が降っていたこともあり若干の遅延はあったが、ほぼ予定どおりの時刻にバスを降車し、帰宅した。乗車するバスごとに児童・生徒が集団を作っており、待機場所からバスの乗車場所までの移動も支障なく進んだ。

【主な意見・感想】

児童

- ・初めての時より全然良くなって、バスの乗り降りが楽になった。
- ・乗る時は低学年を優先して乗った。低学年がいすにすわれるようにした。
- ・乗降口付近が混雑すると乗りにくい。

教職員

- ・下校時は後で降りる児童から奥に座らせてスムーズな降車に繋がった。
- ・中学生は席が空いているのに、遠慮して座らないので乗り込むのに時間がかかることがあった。
- ・バスを降車する時刻がもう少し早いとより良いと感じるところがある。

○ 第5回（令和元年10月21日（月））

【結果概要】

- ・登下校時ともに、全路線で大きな混乱はなく、徒歩通学の児童も全員無事に登下校した。

○ 実施結果に基づく対応

- ・第4回実施後の児童・保護者の意見を踏まえ、城山地区の児童は、これまでどおり徒歩通学とし、下地区の児童は、バス通学とする。
- ・下校時のバスの時刻について、より学校や児童生徒の活動に沿った時刻になるよう、関係部署と調整する。
- ・乗車マナーについては、低学年を優先しつつも、降車バス停の順番や乗車人数に応じてスムーズに乗車できるよう、それぞれが工夫するよう伝えていく。
- ・これまでのシミュレーション等で、通学路で安全確保の為に対策が必要と思われる箇所については、内容を具体化して関係機関に働きかけていく。資料5-2

<参考：登下校の状況（令和元年6月14日（金））>

登校の様子



乗車バス停からの乗車



バスからの降車

下校の様子



バス到着時の様子



バス乗車時の様子



バス車内の様子



バス降車時の様子

(案)

令和元年 月 日

様

京都京北小中学校検討協議会

代 表 久 保 敏 隆

要 望 書

平素は、子どもたちをはじめとする地域の安心、安全の暮らしを実現するため、格別の御尽力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、右京区の周山中学校区において、京北第一小学校・京北第二小学校・京北第三小学校の3小学校が統合し、周山中学校と合わせた施設一体型小中一貫教育校「京都京北小中学校」が令和2年4月に開校いたします。

現在、京北自治振興会、各学区自治会、京北学校運営協議会と各校PTA等で組織されています「京都京北小中学校検討協議会」と京都市教育委員会の連携のもとで、開校に向けた取組を進めているところでございます。

こうした中、子どもたちが安心して通学できるよう、検討協議会内に「通学安全検討部会」を設置して協議を重ね、また実際に登下校シミュレーションを実施する等、その安全対策について地域・保護者・学校が連携し、一体となって子どもたちの安心・安全な新通学路の設定について検討を重ねてまいりました。

当検討協議会での検討結果をもとに、通学上の安全性を一層高めるための要望事項を別紙のとおりとりまとめました。

子どもたちが安心して通学できるよう、要望事項の実現に向け、御検討いただきますようお願いいたします。

(別紙)

< 要望事項 >

(1) 徒歩通学・自転車通学児童生徒の安全確保のための歩道へのガードレール等の設置による安全対策及び除雪について

下記赤線部西側歩道については、徒歩通学児童生徒および自転車通学生徒の通学路ですが、児童生徒が安全に通学できるよう、ガードレール等の設置による安全対策を要望します。

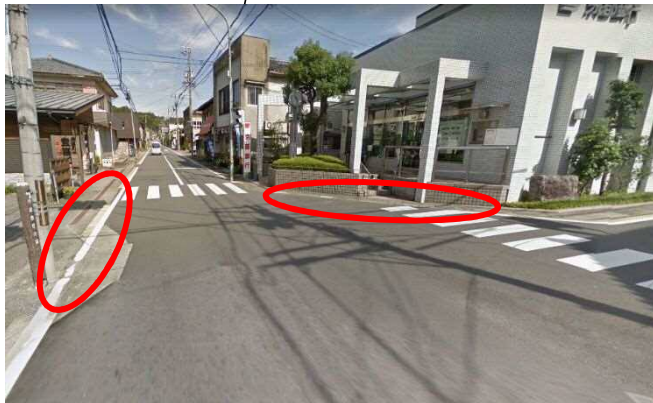
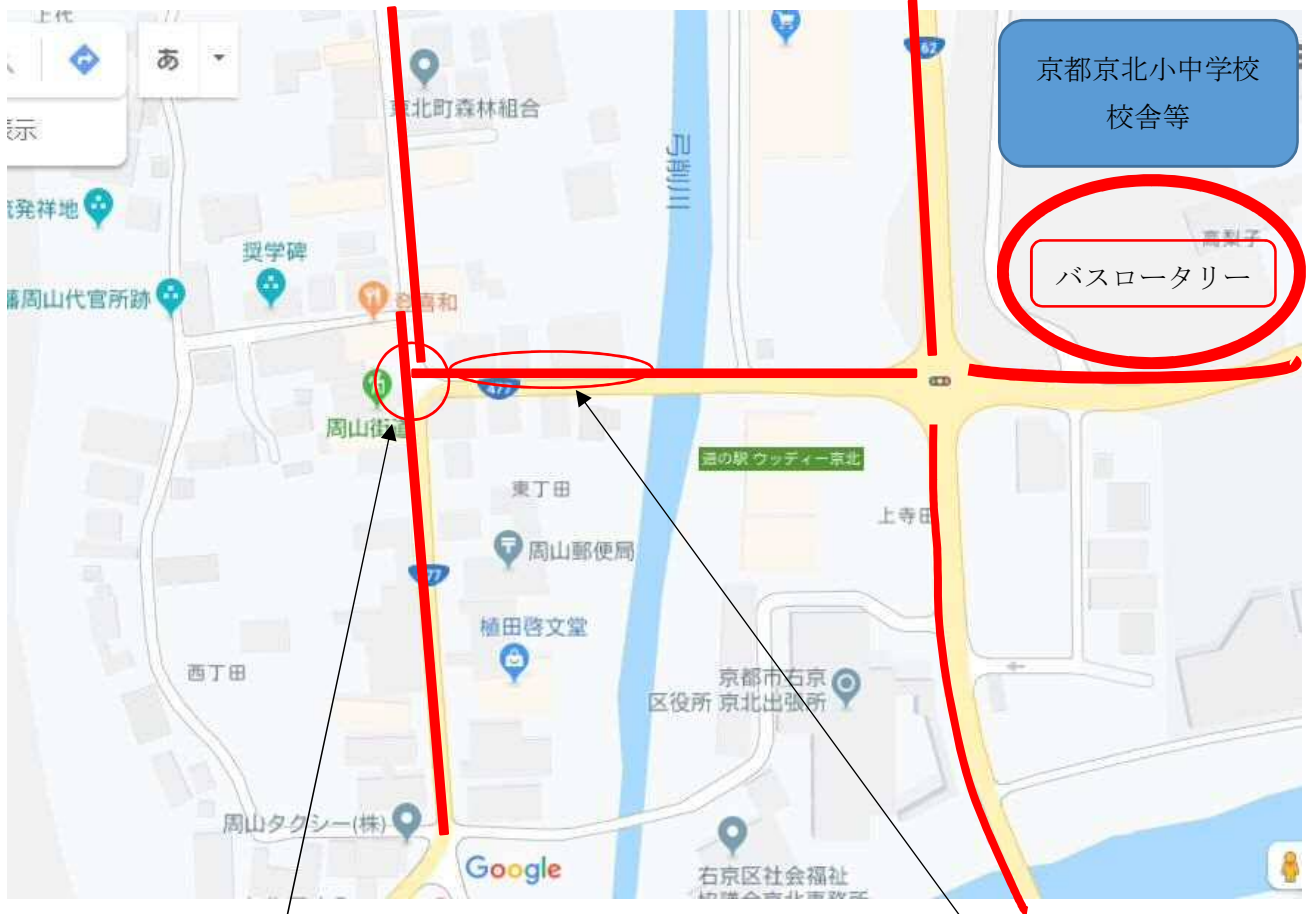
また、冬季については、積雪で歩道等が十分に確保されないこともあり、安全に通学できるように除雪を要望します。



(例)

京都京北小中学校周辺の除雪

※除雪については、特に児童生徒が集中する「京都京北小中学校」周辺部分について、徒歩通学・バス通学ともに安全を確保するために、下記の歩道・道路部分の除雪の強化を要望します。



児童・生徒が集まる交差点付近の除雪



道幅が狭い道路の除雪

(2) 児童生徒の通学安全確保のため信号改善・歩道確保について

①周山駅周辺信号の押しボタン式信号への変更

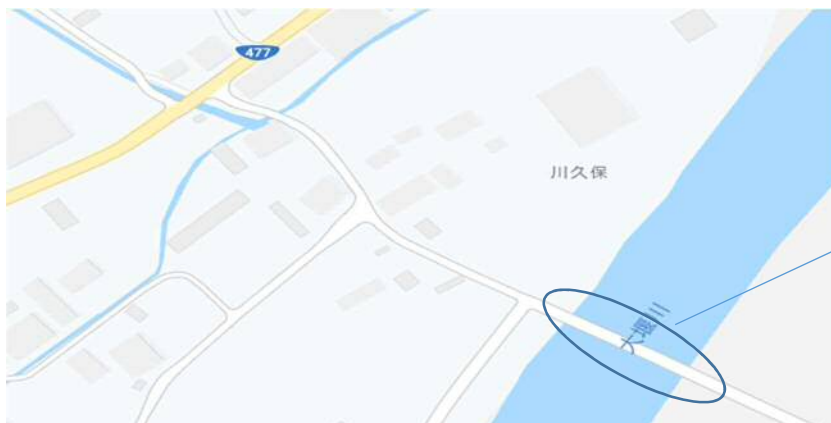
児童生徒が安全に横断歩道を渡るために、点滅式信号から押しボタン式信号への変更を要望します。



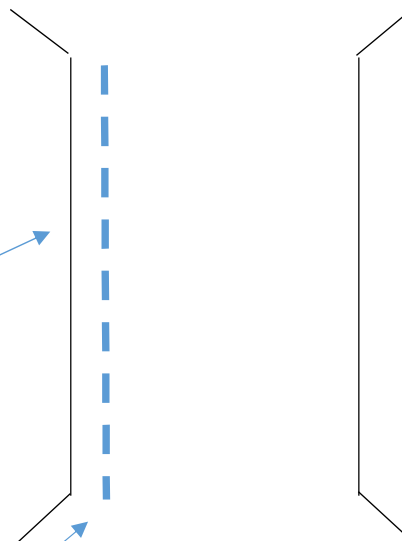
→押しボタン式信号機の設置

②「亀ノ甲橋」及び「野上橋」への歩道の設置、もしくは白線による歩道の確保

○亀ノ甲橋



○野上橋



③「下中」バス停南側の路側帯設置



④「沢尻」バス停付近へのガードレール等の設置



(3) バス停付近の安全確保のための注意喚起看板・路面標示の設置等の安全対策について

下記バス停については、車が高速で通過することも多く、児童生徒が道路を横断するにあたって、特に自動車との事故が懸念されます。そこで、児童生徒の道路の横断・バス停付近であることの注意喚起をする看板もしくは路面標示の設置等の安全対策を要望します。

①バス停「吉野」付近



②バス停「水野」付近



③バス停「鶴野」付近



④バス停「井戸」付近



⑤バス停「林町」付近



⑥バス停「晨渡橋」付近



⑦バス停「大野」付近



⑧バス停「野上橋」付近



⑨バス停「比賀江」付近



⑩バス停「山国護国神社前」付近



⑪バス停「鳥居」付近



⑫バス停「殿橋」付近



⑬バス停「鳥谷住宅前」付近



⑭バス停「筒江口」付近



⑮バス停「下弓削」付近



以上，多岐にわたりますが，子どもたちが安全に学校に通学できますよう，ご検討いただき，改善をお願いいたします。